令和3年度 英語学習実施状況について

金沢市立三谷小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和4年1月実施)

(%)

<u> </u>	リハチロキ王 英語子首に プバモのアンケート(市和4年1万美地) (%								
		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答			
問1	英語の勉強が好きだ。	100.0	0.0	0.0	0.0	0			
問2	英語の勉強は大切だ。	100.0	0.0	0.0	0.0	0			
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	100.0	0.0	0.0	0.0	0			
問4	英語の授業の内容がわかる。	25. 0	75. 0	0.0	0.0	0			
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	50. 0	50. 0	0.0	0.0	0.0			
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答える ことができる。	25. 0	75. 0	0.0	0.0	0.0			
問7	アルファベットの大文字が書ける。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
問8	アルファベットの小文字が書ける。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	50. 0	50. 0	0.0	0.0	0.0			

②指導改善の具体策(令和4年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・絵カードに英単語をつけたものを見せながら、Unitごとに単語練習をする。そのうち、初めのアルファベットの発音からど の単語のカードなのかを想像(単語を読む)させながら、単語の習得をさせていく。
- ・Unitごとにある曲は、まずはサブタイトルと歌両方を出しながら、歌って耳と目と口を使って覚えていく。次第にサブタイ トルと曲のみにしていき、文字を目で追いながら歌えるようにしていく。
- ・学年に合ったスピードで授業者と英語インストラクターとのやりとりを見せ、まずは真似して表現させ、自分のことの表現 へと徐々に変えながら話す力をつけていく。

③学校関係者評価

- ・意欲を持って取り組めるように、○級を目指して学習するなど目標を持って活動してはどうか。・英語で質問したり答えたりすることに自信が持てるように、話す力をつけて表現力を磨いてほしい。また、
- 中学校でも萎縮せず、人前で話す機会を設けてほしい。 ・積極性はあるが、声が小さくなるのが気になるので、普段から表現するときははっきりとした声で伝えられ るよう指導してほしい。
- ・客観的な評価も入れた方がよいのではないか。

記入例

令和3年度 英語学習実施状況について

金沢市立〇〇小学校

学校名を記入

①小学6年生 英語学習についてアンケート (令和4年1月実施)

①問1~10には「小学6年生 英語学習についてのアンケ より抜粋した項目が記載されているので、各学校のアンケート結果を記入し、 作成する。

※アンケート結果は、令和4年3月2日付けで各学校へC4th文書連絡で送付済み

問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	26.7	61.0	9.5	2.9	0.0
問4	英語の授業の内容がわかる。	30.5	54.3	12.4	1.9	1.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	21.0	43.8	20.0	4.8	10.5
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答 えることができる。	20.0	45.7	17.1	6.7	10.5
問7	アルファベットの大文字が書ける。	79.0	6.7	1.0	2.9	10.5
問8	アルファベットの小文字が書ける。	74.3	8.6	3.8	2.9	10.5
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの 単語や英文を書き写すことができる。	44.8	27.6	12.4	4.8	10.5
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	21.0	33.3	22.9	11.4	11.4

②指導改善の具体策(令和4年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- さらに広げられ
- ・意識調査よりS 習できるように
- ・外国の方との交に②「英語教育に関する報告書(令和4年2月実施)」で記載された 「来年度に向けての指導改善の具体策」を記入し、作成する。 ※必要に応じて変更・追加等をしてもよい。

③学校関係者評価

評価の例)

- ・英語の勉強が好きな児童の割合は高いが、英語で質問したり、答えたりすることの肯定 的な回答の割合はやや低い。児童が英語を話すことに自信が持てるように、外国の方との 交流を増やすとよい。
- ・アルファベットを書くことができると感じている児童の割合が高い。ショートタイムの 時間にアルファベットを使った活動を取り入れていくとよい。